科目区分	基礎科目	科目名	現代社会と女性	科目コード	17Y010	担当者	玉島　健二
対象学生	幼児教育学科全学	学期区分	通年	単位数	2	卒業要件	必修
						免許・資格要件	

科目の主題	学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
2年間で15回の授業です。多彩な講師によるオムニバス形式の授業を受ける中で、学生の皆さんには多元的で、柔軟なものの見方、考え方、行動力などを身に付けてほしいと願っています。	1．「尽心」誠実な人柄と人間力		2．「創造」高度な知性と創造力		3．「実践」明確な意思と実践力	

科目の到達目標		①誠実性・真摯性	②多様性・協働性	③知識・技能	④思考・表現・判断・創造力	⑤主体性・実行力・自立性	⑥就業力・貢献力
1．	現代に生きる女性に必要な素養、考え方、生き方等を身に付ける						
2．	命と人権を考え、お互いを大切にする心と行動力を身に付ける						
3．	長崎の歴史や文化について学び、郷土を愛する心を育む						
4．	仕事や職業について理解し、人としての生きる力を身に付ける	◎	◎	△	◎	◎	○
5．							

授業方法	成績評価の方法と割合
2年間で15回の授業で、第1回目～第3回目は「初年次教育」として本学で学ぶ意義や授業の受け方、レポートの書き方等、本学学生として必要なスキルを身に付ける授業を行います。それ以降は、多彩な講師によるオムニバス形式の授業です。授業終了後には、毎回レポートを提出してもらいます。	提出物（50%） 受講態度（50%）

準備学修	課題等への対応
①日ごろより新聞を読み、世の中の動きに関心を持っておくこと。また、講師の講義に対し、姿勢よく　聴講する習慣を身に付けておくこと。 ②授業外の学修は、90時間を目安として準備しておくこと。	提出されたレポートは、その都度評価します。

授業計画	
第1回	建学の精神、本学の歴史、授業の受け方等について学ぶ
第2回	依存症について学ぶ
第3回	読む、書く、表現する等について学ぶ
第4回	胎児の人権を考える
第5回	年金教育・消費者教育
第6回	長崎さるくについて①
第7回	長崎さるくについて②（長崎さるく体験）
第8回	長崎さるくについて③（長崎さるく体験）
第9回	職業フォーラム
第10回	就職活動への心構え
第11回	挑戦～今、私にできること～
第12回	「コミュニケーション力」を高める
第13回	マネープランについて考える
第14回	企業者の思いについて知る
第15回	市長の思い

教科書・参考書	受講生へのメッセージ
特にありません。必要に応じて資料を配布します。	様々な講師の方から発信される思いや願いをしっかり受け止め、人間力を高めてください。